

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成27年9月15日

計画の名称	6 市民の生活交流の強化と道路の安全性の向上		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	総社市
計画の目標			

市村合併した旧総社市と旧清音村の生活交流と市の中心を南北に流れる高梁川に分断された東側と西側の地域の一体化を図る。
また、安全で円滑な人の移動や物資の効率的な輸送を進め地域活力の創造を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

安全かつ円滑な交通の支障となっている箇所の解消及び自転車、歩行者の交通難所の解消

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
------------------	-----------------	-----------------

備考

① 渋滞箇所の解消数

0	0	2
---	---	---

② 歩行者の通行に危険な箇所の解消数

0	3	5
---	---	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

・平成27年8月

公表の方法

・総社市ホームページに掲載

総社市において目標の達成状況等を確認し、事後評価を実施

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					備考
											H22	H23	H24	H25	H26	
6-A1-1	道路	一般	総社市	直接	総社市	市町村道	交安	(1)三因上中島本線	歩道整備 L= 415m	総社市						
6-A1-2	道路	一般	総社市	直接	総社市	市町村道	改築	(1)清音神在本線	バイパス L=3300m	総社市						計画1へ移行
6-A1-3	道路	一般	総社市	直接	総社市	市町村道	改築	(他)南溝手支線3024号道	現道拡幅 L= 285m	総社市						
6-A1-4	道路	一般	総社市	直接	総社市	市町村道	交安	(1)中央井手本線	歩道整備 L= 280m	総社市						防災安全交付金（計画11）へ移行
6-A1-5	道路	一般	総社市	直接	総社市	市町村道	交安	(1)元町井手本線	歩道整備 L= 420m	総社市						
小計（道路事業）																
合計																

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					備考	
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					備考
										H22	H23	H24	H25	H26	
6-C1-1	計画・調査	一般	総社市	直接	総社市	計画・調査	長寿命化計画策定事業	計画策定 N=22橋	総社市						*
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
6-C1-1	総社市域内の橋梁について、長寿命化修繕計画の策定を行い、効果的・効率的な維持管理を行っていくことで、安全性・信頼性の確保を図る。														*

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 三因上中島本線改良事業において、歩道整備を行った結果、歩行者の通行に危険な箇所が1箇所解消された。 南溝手支線3024号道改良事業において、歩道整備を行った結果、歩行者の通行に危険な箇所が1箇所解消された。 清音神在本線改良事業において、現道拡幅を行い歩道を整備した結果（起点側 部分供用）、歩行者の通行に危険な箇所が1箇所解消された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（渋滞箇所の解消数）	最終目標値	2	目標値と実績値に差が出た要因	清音神在本線整備事業について、用地交渉の難航等により、事業進捗に遅れが生じたため。
		最終実績値	0		
	指標②（歩行者の通行に危険な箇所の解消数）	最終目標値	5	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	3		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

3. 特記事項（今後の方針等）

・施工中の3事業（清音神在本線、元町井手本線、中央井手本線）について、岡山県パッケージへ引き続き、早期の供用開始による事業効果の発現を図る。
 ・今後も交付金を活用して、目標値の達成に向け事業進捗を図り、産業活動や地域生活の支援及び交流の拡大を推進する。